

- 問1 茨城県、栃木県、群馬県の3県にまたがり、内陸部における高速道路網の整備を背景に、1960年代以降、日本の製造品出荷額等において占める割合を大きく伸ばしてきた工業地域はどこか。 (2018年 高知県公立入試 類似)
1. 阪神工業地帯                      2. 北九州工業地域                      3. 京浜工業地帯                      4. 北関東工業地域
- 問2 明治時代以降、官営模範工場である富岡製糸場が設立されるなど、製糸業が大きく発展した群馬県において、現在、県庁所在地となっている都市はどこですか。 (2015年 岐阜県公立入試 類似)
1. 前橋市                      2. 富岡市                      3. 高崎市                      4. 桐生市
- 問3 関東地方の農業産出額において、野菜の占める割合が約4割と非常に高い水準にある理由として、最も適切な説明を選びなさい。 (2016年 岩手県公立入試 類似)
1. 東京などの大都市圏という巨大な消費地が近くにあり、輸送時間を短縮して鮮度の良い農産物を届けられるため。                      2. 干拓地や大規模な土地改良区を整備することで、付加価値の高いブランド米の生産を優先しているため。                      3. 中央高地の涼しい気候を利用して、他の地域では野菜が不足する夏から秋にかけての出荷を行っているため。                      4. 平野部が少ないため、限られた土地でも収益性を高めることができる畜産業を縮小し、野菜栽培に特化したため。
- 問4 ある都道府県の統計指標を全国平均を100として比較したとき、人口と第3次産業有業者割合が100を大きく上回り、かつ製造品出荷額と農業産出額も100を超えて、工業と農業の両面でバランスの取れた産業構造を持っている県はどこですか。 (2020年 千葉県公立入試 類似)
1. 沖縄県                      2. 千葉県                      3. 新潟県                      4. 京都府
- 問5 都市の人口構造を示す「昼夜間人口比率（夜間人口を100とした時の昼間人口の割合）」について、東京23区のようにこの比率が100を大きく超える地域の特徴として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 埼玉県公立入試 類似)
1. 周辺の県に比べて農地や工場が多いため、日中に周辺地域へ働きに出る人が多い。                      2. 郊外に大規模なニュータウンが形成されており、夜間に多くの人々が帰宅してくる居住機能が中心である。                      3. 都市の中心部にオフィスや学校が集中しており、周辺地域から多くの人々を吸い寄せている。                      4. 地価が安いいため、中心部に住居を構える世帯が多く、夜間人口が昼間人口を上回っている。
- 問6 複数の鉄道が利用できる利便性の高い地域において、かつて工場や駐車場、厚生施設などが広がっていた広大な土地が取り壊され、跡地に20階を超えるような高層マンションが建設される事例が増えています。このような都市再開発に伴う土地利用の変化と、その結果として生じる現象の説明として最も適切なものはどれですか。 (2019年 東京都公立入試 類似)
1. 都心部での工場の新設が促進され、周辺地域との工業的なつながりが強まる。                      2. 郊外への人口流出が加速することで、都心部の夜間人口が大幅に減少する。                      3. 土地利用の高度化が進み、利便性を求める層が流入することで都心部の人口が急増する。                      4. 低層住宅を中心としたゆとりある住宅街が形成され、土地利用の集約度が低下する
- 問7 千葉県の沿岸部に形成された京葉工業地域について、その土地形成の背景と産業の特色を説明した文として最も適切なものを選びなさい。 (2024年 東京都公立入試 類似)
1. 丘陵地を切り開いたニュータウンに、付加価値の高い電子部品などを製造する先端技術産業が集まった。                      2. 東京湾の埋め立て地に、製油所や製鉄所、火力発電所などが一体となった石油コンビナートが建設された。                      3. 古くからの港町を中心に、繊維工業や食料品工業といった軽工業から発展し、現在は化学工業が盛んである。                      4. 広大な干拓地を利用して、自動車の組み立て工場を中心とした輸送用機械の製造が発展した。
- 問8 群馬県北部の険しい山地から関東平野にかけて急激に標高が低くなる地形的特徴は、この地域の冬の気候にどのような影響を与えていますか。その仕組みとして正しいものを選択してください。 (2024年 岡山県公立入試 類似)
1. 南東から吹く温暖な風が北部の高い山々に突き当たることで、関東平野の全域で冬でも気温が下がらず上昇し続ける                      2. 山地が低く平野部との標高差がないため、海からの湿った空気が遮られずに山まで届き、平野部全体に大雪をもたらす                      3. 北部の高い山を越える際に水分を失った冷たく乾燥した季節風が、標高の低い平野部に向かって強く吹き下ろす                      4. 平野部が山地よりも標高が高くなっているため、山を越えてきた風が平野の手前で上昇気流となり、常に無風状態となる
- 問9 茨城県における農業の特徴を説明した次の文のうち、その背景や実態について述べたものとして正しいものはどれですか。 (2023年 東京都公立入試 類似)
1. 施設栽培によりピーマンなどを年間通して生産し、東京までの輸送利便性を活かして出荷している。                      2. 広大な平野を利用し、機械化を進めることで、主にごぼうなどの根菜類を大規模に輸出している。                      3. 夏の冷涼な気候を利用して、レタスなどの高原野菜を都市部に向けて出荷している。                      4. 冬の温暖な気候を活かし、きゅうりなどの収穫時期を通常より早める促成栽培が中心である。
- 問10 関東地方の工業の特色について、千葉県の東京湾岸一帯には大規模な埋立地が広がり、石油精製や化学工業の工場が集まる全国有数の石油化学コンビナートが形成されています。この工業地域を何と呼びますか。 (2016年 長崎県公立入試 類似)
1. 北関東工業地域                      2. 京葉工業地域                      3. 京浜工業地帯                      4. 鹿島臨海工業地域
- 問11 関東地方の北西部に位置する内陸県の一つで、利根川の上流域に広がり、県庁所在地を前橋市に置く自治体はどこですか。 (2025年 長野県公立入試 類似)
1. 群馬県                      2. 埼玉県                      3. 栃木県                      4. 茨城県
- 問12 関東地方の房総半島からその周辺にかけて広がる地域は、北部に国立公園に指定されたリアス海岸があり、南部には大規模な埋立地が造成されています。この地域における、高度経済成長期以降の工業の発展の様子を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2022年 東京都公立入試 類似)
1. 穏やかな海面と広大な塩田跡地を利用して、石油化学コンビナートや自動車工場が集中する、瀬戸内海沿岸の工業地域を形成した。                      2. 国際貿易港に隣接する岬などの地形を活かして造船所が作られ、埋立地には輸入原料を利用する大規模な製鉄所が建設された。                      3. 広大な平野と冷涼な気候を活かして、大規模な畑作や酪農と結びついた食料品工業が、広域的な交通網に沿って発展した。                      4. 豊かな森林資源と水資源を活かして、明治時代から製紙・パルプ工業が発達し、現在も沿岸部を中心に国内有数の出荷額を誇っている。